# 高校の探究の時間で SDGsに取り組むには どうすれば良いかを考える勉強会

関東地方ESD活動支援センター(関東ESDセンター) 令和3年8月25日



# 持続可能な開発目標(SDGs)

# SUSTAINABLE GOALS







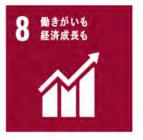


































# SDGsがつくられたプロセス

2015年 SDGs採択



SDGs: 持続可能な開発目標

2012年 国連持続可能な開発会議 SDGs策定スタート

リオ+20: 「私たちの望む未来」

UNEP 持続可能性 国連環境計画 LNFCCC UNCCD 砂漠化対処条約 気候変動枠組条約 生物多様性条約

アジェンダ21

貧困をなくす



2000年 国連ミレニアムサミット ミレニアム開発目標

アイコン: (特活)ほっとけない 世界のまずしさ作成

1992年

国連環境開発会議:地球サミット(ブラジル・リオ)

21

※SDGs策定プロセスのイメージ

(MDGs) スタート

# 持続可能な開発のための2030アジェンダ

前文

誰一人取り残さない

5つのP



我々の世界を変革する:

持続可能な開発のための

2030アジェンダ

SDGsとターゲット

宣言

実施手段とグローバ ルパートナーシップ

フォローアップと レビュー



# 宣言より抜粋

我々は、貧困を終わらせることに成功する最初の世代になり得る。

●同時に、地球を救う機会を持つ、最後の 世代になるかもしれない。

# SDGsのポイント

- 1. 普遍性: 先進国を含め、全ての国が行動
- 2. 包摂性: 誰一人取り残さない
- 3. 参画性: <u>全てのステークホルダー</u>が役割を
- 4. 統合性:経済・社会・環境に統合的に取り組む
- 5. 透明性: **定期的にフォローアップ**





ECONOMY 経済

# PRODUCTIVITY 人的資本、製造資本



SOCIETY

社会











### **EQUITABLE ACCESS**

公平なアクセス





















なくそう

まちづくりを

住み続けられる 平和と公正を エネルギーをみんなに すべての人に そしてクリーンに

すべての人に 質の高い教育を ジェンダー平等を 飢餓を 健康と福祉を みんなに

実現しよう

ゼロに

### BIOSPHERE

生物圏

14 LIFE BELOW WATER

**\*\*\*** 



陸の豊かさも 海の豊かさを 守ろう 守ろう

農業、林業・等 Zero Deforestration









Water Neutral



レジリエンス





安全な水とトイレ 気候変動に 具体的な対策を

※出典・・・・㈱インターリスク総研より資料提供

SDGs "wedding cake" illustration presented by Johan Rockström and Pavan Sukhdev



# ESDとは?

**ESD** (Education for Sustainable Development)

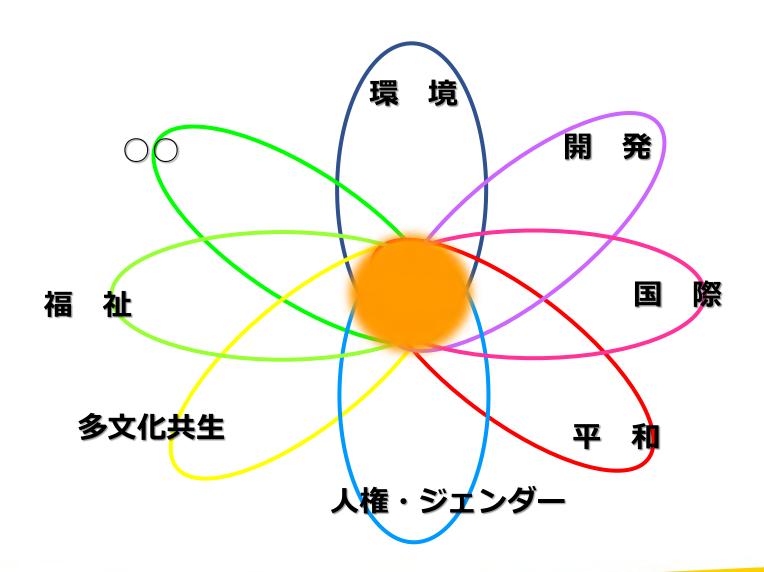
# 持続可能な開発のための教育

地球規模の課題を**自分事として捉え**、 その解決に向けて**自ら行動を起こす力**を 身に付けるための教育です。

> 「持続可能な開発のための教育(ESD) 推進の手引」より 文部科学省国際統括官付/日本ユネスコ国内委員会



# ○ | 教育の接点 = ESD



# ESDの特徴

ESDの対象は子ども だけだはありません 学校、企業、地域住民、行政、NPO・・・ 多様な立場や世代の人々がESDの担い手であり、 学び手です。



### 「協働」する意識

- ・適切な役割分担
- ・対等な立場
- ・相互に協力
- お互いの強みを 活かして、同じ課 題を共有し、協力 し合う
- =持続可能な社会

# ESDの特徴

「教える」教育ではありません

具体的な課題・問題を解決するために考え、話し合い、行動しながら学ぶ学習活動です。



### 「気付き」を大切 にする

- ・どうして?
- 誰が?
- ・どこで?
- ・どうしたら?

# ESDの特徴

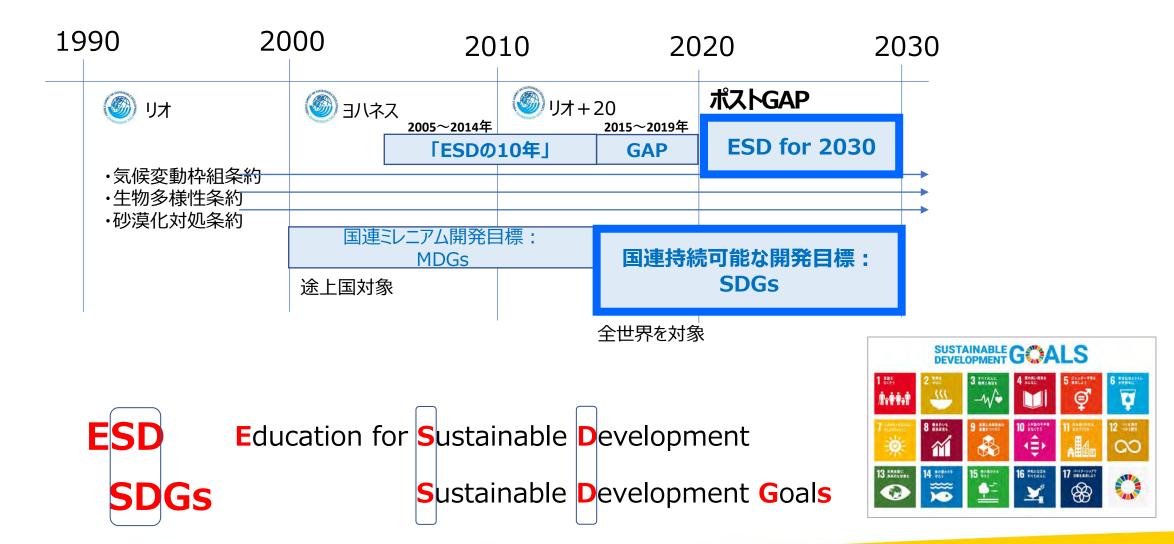
### 未来を描くこと

地域の歴史や現実を学び、そこから自分たちが望む未来を描くことから始まります。



50年後も、 100年後も、 自分の子どもも、 孫も、そのまた 子どもも、 ずっとこの地域で 暮らすために

# ESD推進の経緯



# SDGs & ESD

教育はSDGsの目標4に位置付けら れており、ESDは目標4の中のター ゲット4.7に記載されています。しか し、教育については、 教育が全て のSDGsの基礎 であ 期待 言われています。特に、ESDは持続 可能な社会の担い手づくりを通じて、 17全ての目標の達成に貢献するもの ESDをより ですから、 SDGsの達成し につながっています。 SDGsを、ESDで目指す目標が国際的 に整理されたものとして捉えること もできます。



持続可能な開発のための教育(ESD)の更なる推進に向けて 〜学校等でESDを実践されている皆様へのメッセージ〜 文部科学省 日本ユネスコ国内委員会教育小委員会

### 持続可能な開発のための教育(ESD): SDGs実現に向けて(ESD for 2030) (2020年~2030年)

- O 目標: ESDの強化とSDGsの17の全ての目標実現への貢献を通じて、より公正で持続可能な世界の構築を目指す。
- O 特徴:①SDGsの17全ての目標実現に向けた教育の役割を強調
  - ②持続可能な開発に向けた大きな変革への重点化
  - ③ユネスコ加盟国によるリーダーシップへの重点化
- 優先行動分野:GAPの優先行動分野は維持しつつ、これまでの教訓を踏まえて一部調整。
- O 実施へのメカニズム:
  - ①国レベルでのESD for 2030の実施(<u>国内イニシアチブの設定</u>)※ ②パートナーシップ及び協働の効果的活用
  - ③行動に向けた普及活動 ④新たな課題や傾向の追跡 ⑤財政資源の動員 ⑥進捗モニタリング
  - ※5つの優先行動分野のうち1つ以上に取り組むこと、5つの優先行動分野で活動する主要なステークホルダー等との 多分野間に渡る提携と協力を促進すること、SDGsに関する広報・アドボカシー活動を強化すること 等。
- ⇒各優先行動分野については維持しつつ、
  - 〇目標としてSDGs全ての目標達成への貢献が明記
  - 〇実施に向けたメカニズムについて、ESDの<u>国内イニシアチブ(国内実施計画)</u>の設定、<u>ステークホルダー間のパートナーシップの促進や普及・</u> <u>啓発活動の実施</u>に言及等が主なポイント。

(出典)令和2年度第1回ESD円卓会議 資料2-1

### 教員向け勉強会

# ESD活動支援センターについて



# ESD推進の経緯

- 2002年(H14)持続可能な開発に関する世界首脳会議(ヨハネスブルグ・サミット)で「ESDの10年(DESD)」が提唱される。
- 2005 年 (H17) **国連持続可能な開発のための教育の10年**開始 ~2014年 (H26) まで
- 2014年(H26)「ESDに関するユネスコ世界会議」においてDESDの後継プログラムとして「ESDに関するグローバル・アクション・プログラム(GAP)」の開始が正式発表
- 2015年(H27) ESD活動支援企画運営準備委員会において検討開始
- 2016年(H28) 「我が国における『持続可能な開発のための教育 (ESD) に関するグローバル・アクション・プログラム』実施計画」(ESD国内実施計画)が 関係省庁連絡会議で決定
- 2016年(H28)平成28年4月 ESD活動支援センター(全国) 開設

### 【ESD国内実施計画(抜粋)】

[〜ESD活動に取り組む様々な主体が参画・連携し、拠点の形成とともに、地域が必要とする取組支援や情報・経験を共有できる「ESD活動支援センター(全国・地方)」を整備し、地域の実態を踏まえた効果的な運用を図っていく。]



# EPO/GEOC

- ・環境省の出先機関である地方環境事務所の管轄区域(計8ブロック)ごとに、官民協働による「地方環境パートナーシップオフィス(地方EPO)」を運営(環境教育等促進法第19条第1項に基づく拠点として位置づけ)。
- ・中間支援組織として、環境NPOの基盤強化支援のほか、地域の環境課題に応じて、多様な主体が対等な立場で相互に協力して課題解決に取り組むよう、コミュニケーションの場づくり等を行っている。



# 地方ESD活動支援センター

#### 北海道地方ESD活動支援センター 地方ESD活動支援センター(地方センター) 〒060-0042 全国センターや地方自治体、地域ESD拠点 北海道札幌市中央区大通西5-11 大五ビル7階 等との連携のもとに、主に以下の機能を果 TEL 011-596-0921 たすことで、ESD推進ネットワークの広域 的なハブ機能を果たします。 1. ESD活動を支援する情報共有機能 2. 現場のニーズを反映したESD活動の 支援機能 北海道 3. ESD活動のネットワーク形成機能 4. 人材育成機能、等 東北地方ESD活動支援センター 〒980-0014 青森 宫城県仙台市青葉区本町3-2-23 近畿地方ESD活動支援センター 岩手 仙台第2合同庁舎1階 〒540-6591 宫城 TEL 022-393-9615 秋田 大阪府大阪市中央区大手前1-7-31 栃木 山形 OMM5階 群馬 福島 埼玉 TEL 06-6948-5866 関東地方ESD活動支援センター 千葉 中国地方ESD活動支援センター 〒150-0001 石川 東京 〒730-0011 東京都渋谷区神宮前5-53-67 福井 神奈川 長野 広島県広島市中区基町11-10 島根 滋賀 コスモス青山地下1階 京都 岐阜 山梨 岡山 合人社広島紙屋町ビル5階 TEL 03-6427-7975 大阪 愛知 広島 TEL 082-555-2278 兵庫 山口 中部地方ESD活動支援センター 奈良 徳島 和歌山 〒460-0003 香川 愛知県名古屋市中区錦2-4-3 佐賀 愛媛 錦パークビル4階 長崎 高知 熊本 TEL 052-218-9073 四国地方ESD活動支援センター 九州地方ESD活動支援センター 大分 **〒760-0023** 〒860-0806 宫崎 香川県高松市寿町2-1-1 鹿児島 熊本県熊本市中央区花畑町4-18 沖縄 熊本市国際交流会館2階 高松第一生命ビル新館3階 TEL 087-823-7181 TEL 096-223-7422



### ESD推進ネットワークは

ESDの広がりと深まりを通じて 地域の諸課題の解決と教育の質の向上、 SDGs達成に向けた意識・行動変革を進めます。

### 持続可能な社会を目指して





















持続可能な開発目標(SDGs)















地方ESD活動支援センター(地方センター) 全国センターや地方自治体、地域ESD拠点 等との連携のもとに、主に以下の機能を果 たすことで、ESD推進ネットワークの広域 的なハブ機能を果たします。

- 1. ESD活動を支援する情報共有機能
- 2. 現場のニーズを反映したESD活動の 支援機能
- 3. ESD活動のネットワーク形成機能
- 4. 人材育成機能、等

#### 地域ESD活動推進拠点(地域ESD拠点)

地域におけるESD活動の支援窓口として、地方センターや他の地域ESD拠点と連携して、ESD活動を支援したり、これからESDを始めようとする活動主体に働きかけます。 地域コミュニティや学校区、市区町村、都道府県、広域ブロックなど様々な活動範囲を持つ組織・団体(教育関係、学術研究関係、メディア、企業、地方自治体、行政、その他)が、地域ESD

拠点となり、得意分野を活かした支援やコー

ディネート、学び合いの場づくりを行います。

学校、地域、職場などで ESDに取り組んでいる多様な実践主体 (ESD活動の現場)

> ESDに取り組もうとしている 多様な主体(潜在的な活動主体)



ESDを広めるため、深めるための働きかけ・支援

多数・多様・重層的な 地域ESD活動推進拠点 (地域ESD拠点)



▲選携・支援

ESD推進に取り組む 組織・団体と 協力・連携します。 ESD活動支援センター

地方センター(全国8か所) + 全国センター

協力団体

# 関東地方ESD活動支援センター

名 称:関東地方ESD活動支援センター

略称:関東ESDセンター

英語名: ESD Resource Center of Kanto, Japan

開設日:平成29年7月3日(月)

### 【関東ESDセンターの役割】

- ① ESD活動を支援する情報共有機能
- ② 現場の二一ズを反映したESD活動の支援機能
- ③ ESD活動のネットワークの形成機能
- ④ 人材育成機能



### ① ESD活動を支援する情報共有機能



# http://kanto.esdcenter.jp/

ホームページでは、関東地域で開催されるESD/SDGs関連の情報を中心に、各地で開催された行事を取材したレポートや、当センター主催の勉強会、ESDに関する地域の活動拠点などについて、情報提供をしています。



毎月第1木曜日にメールマガジンを発行しています。 関東地方のESDに関するイベント、セミナー、補助金・助成金 募集などの情報を集めてお送りしています。ESDにご関心のある方は、是非ご利用下さい。



Facebook で も 、 日々の活動など情 報発信中!いい ね!をお願いします。

### 【イベント・ニュース】



2021.01.18 SDGs閉連イベント紹介

シンポジウム「ポストコロナ社会を生き抜く地域の知恵と持続 可能性-新たな地域循環共生圏 (ローカルSDGs) の創造-」

〇日時:令和3年2月16日(火)14:30~17:30

〇場所:オンライン開催 〇主催:環境省 ほか



2021.01.18 SDGS関連イベント紹介

RE-Usersサミット2021

〇日時:令和3年2月3日(水)13時~16時

 〇方法: オンライン配信 (Zoom)

 〇主催: (公財) 自然エネルギー財団



2021.01.18 SDGs阻連 イベント紹介 ユース向け 教員・指導者向け

脱炭素チャレンジカップ2021

〇日時:令和3年2月9日(火) 〇方法:オンラインでの開催

〇主催:脱炭素チャレンジカップ実行委員会



2021.01.18 SDGs関連イベント紹介

中小企業におけるサステナブル経営と地域活性化について

〇日時:令和3年2月17日(水)17:00~19:00

〇方法: ZOOMによるオンライン開催 〇主催: (一財) CSOネットワーク



2021.01.18 イベント紹介 ユース向け 教員・指導者向け

国際バカロレア教育推進コンソーシアム地域セミナーIn北関東

〇日時: 令和3年1月24日(日)13:30~15:00

〇会場:オンライン開催 (Zoom)

〇対象: IB教育に関心のある教育関係者、生徒、保護者等(先着50名)

〇主催:文部科学省IB教育推進コンソーシアム事務局

### 【イベント・レポート】

2020.12.09 ESD/SDGsニュース ESD側達ニュース イベント紹介 レポート

【参加レポート】~SDGs~ 今私たちにできることは? 市民目線で SDGsを考える



タイトル SDGs-私たちにできることは? 市民日報でSDGsを考える

日時 令和2年12月2日 (水) 10:00-12:00

主催・会場 パートコル・ボード (神奈川県横浜市旭区)

参加者 154

[数を]

模点市拠区にある「ハートフル・ボート」は、店主の五味真紀さんが自宅を改装して、2014年 にオープンしたコミュニティ・カフェだ。 私教治験の住宅指にあり、平日3日間、昼間のみ営業 している。ウクレレ検室や昭和歌図、炎会話、ワークショップなど、様々な行事を頻繁に開催 しており、地域の人の思いの場であるとともに、学びの場にもなっている。

今回、市民に向けたSDGsについて学ぶ場として、『SDGs - 私たちにできることは? 市民日籍でSDGs を考える」と聞きれたイベントが開催され、その様子をレポートする。

#### Transactive

SDGsに関するセミナー等は、企業、行政、学校などで開催される事が多いが、このイベント は地域に密着したコミュニティ・カフェで、主に地域の一般市民に向けて開催されたものだ。 参加者は、リユースショップを運営するNPOのスタッフ、拠区の地域活動に取り組まれている 方、区役所の区政権推進の方など15名。

まず講演として、SDGsターゲットファインダー (後述)の日本語版を開発した概式会社ワンプ フネットカフェ代表版練役社長のエクベリ限子氏より、SDGsについてのレクチャーがあった。



### ② 現場のニーズを反映したESD活動の支援機能



2030年の未来は、 大人には任せておけない!

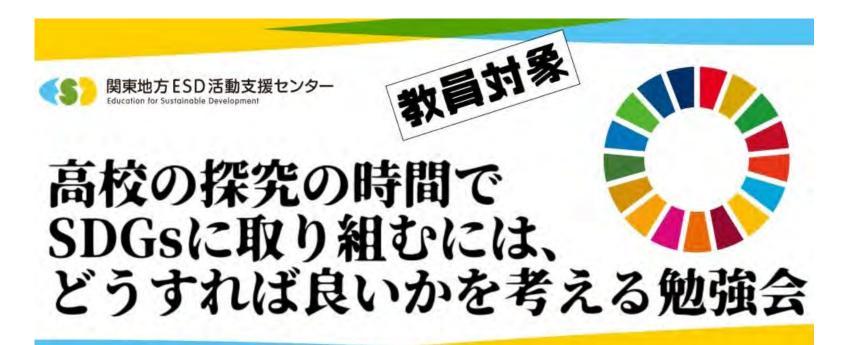
中・高生なら誰でも参加できる

# SDGs文化祭

本企画は、SDGsに興味のある生徒を集め、協働しての実践・発表の場を設けるものです。SDGsに興味があっても周囲に仲間がいない生徒や、関心があっても学ぶ機会が与えられていない生徒に、積極的にSDGsに関わる場所を提供していきます。

| 【令和3年度S     | DGs 文化统                     | <b>祭:全体スケジュール</b>                  |   |
|-------------|-----------------------------|------------------------------------|---|
| キックオフミ      | 7/18 (日)<br>14:00-<br>16:30 | オンライン                              | 問題意識や興味がある分野の共有を行います                            |
| 2nd session | 7/27 (火)<br>15:30-<br>17:00 | オンライン                              | 各自で考えたアイデアを大人に話して、アドバイスや感想を聞き、アイデアをブラッシュアップします。 |
| 3rd session | 8/25 (水)<br>10:00-<br>12:30 | <del>東京ウィメンズプラ</del><br>ザ<br>オンライン | チーム分けを行い、今後取り組んでいくSDGs<br>プロジェクトを固めていきます。       |
| 中間発表        | 9/26(日)<br>14:00-<br>16:30  | オンライン                              | 発表本番に向けてチームごとに途中経過を発表<br>し、本番に備えます。             |
| SDGs文化祭     | 10/31(日)<br>13:00-<br>16:30 | 東京都内場所未定                           | チームで取り組んだ成果を、様々な立場の人に<br>発表し、対話・交流します。          |

### ② 現場のニーズを反映したESD活動の支援機能



日時 令和3年8月25日(水)14:00~16:30

場所 オンライン

対象 教員、教育委員会の方(主に、中高)

参加費等 無料

主催 関東地方ESD活動支援センター

協力 (一社) ESD TOKYO

# ③ ESD活動のネットワークの形成機能

# 地域ESD活動推進拠点(地域ESD拠点)登録制度

学校現場・社会教育の現場では、さまざまな主体が地域や社会の課題解決に関する学びや活動に取り組んでいます。

そうした現場のESDを支援・推進する役割を担う組織・団体を「ESD推進ネットワーク」における「地域ESD活動推進拠点」(地域ESD拠点)として登録することができます。

### 関東地方の地域ESD拠点

【8月現在】全国:148件・**内関東:33件** 

- 【茨城県】認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ/キヤノンエコテクノパーク
- 【栃木県】(特非)エコロジーオンライン/(特非)栃木県環境カウンセラー協会
- 【群馬県】チャウス自然体験学校((特非)チャウス)/きりゅう市民活動推進ネットワーク サンデンフォレスト(サンデンファシリティ(株))
  - 藤岡市ボランティアネットワークセンター ウィズ
- 【埼玉県】筑波大学附属坂戸高等学校
- 【千葉県】 (特非) 環境パートナーシップちば
- 【東京都】(一社)新宿ユネスコ協会/成蹊学園サステナビリティ教育研究センター 立教大学ESD研究所/多摩大学アクティブ・ラーニング支援センター
  - (特非)新宿環境活動ネット/聖心女子大学グローバル共生研究所
  - 晃華学園中学校高等学校/ (一社)ESD TOKYO /(特非)持続可能な社会をつくる元気ネット
- 【神奈川県】認定NPO法人アクト川崎/ (特非)横浜市民アクト
- 【新潟県】学校法人日本自然環境専門学校/ (公財) 鼓童文化財団/新潟市水族館マリンピア日本海 (一社) あがのがわ環境学舎/(一社) 新潟市ユネスコ協会/フォッサマグナミュージアム
- 【山梨県】(公財)キープ協会
- 【静岡県】(特非)アースライフネットワーク/伊豆半島ジオパーク推進協議会・教育部会 (一社) 自然エネルギー推進機構 /(公財) ふじのくに未来財団/VISIONARY INSTITUTE

# ESD for 2030学び合いプロジェクト 関東ESDセンターの取り組み内容

「自然体験を通じて、生活に関わるSDGsを学ぶ」

実践フィールド(群馬県桐生市)

チャウス自然体験学校の畑







### 体験プログラム実施

畑での収穫・コンポストなどの体験など

·対象:親子(小学校低学年+親)

·時期:令和3年11月21日(日)

目標を達成するためには、 どのようなプログラムを実施 すれば良いのかを考えます。

### =今回の内容

・オンライン研究会

# ESD for 2030学び合いプロジェクト 関東のスケジュール

プロジェクト・スケジュール

プログラム案作成

プロジェクトメンバー・団体の方に、プログラム案を考えていただきます。

### オンライン

第一回 7/26(月) 18:00-19:30

キックオフ

本プロジェクトの狙い と現在の取組みなど について共有します。

後から動画視聴可

### オンライン

第2回 8/9(月) 18:00-20:00

### 勉強会

コンポストなどを実践 する方をお招きし、み んなで学びます。

後から動画視聴可

### オンライン

第3回 10/2(土)

13:30-16:00

### 研究会

皆さんに考えて頂い た案を共有し、プログ ラムを検討します。

### 現地開催(群馬)

第4回 11/21(日)

10:00-13:00

### プログラム実施

提案されたプログラム をもとに、現地でプログ ラムを実施します。

後から動画視聴可

### オンライン

第5回 1/29(土)

13:30-16:00

リフレクション

本プロジェクトの成果 を検証し、ブラッシュ アップします。

希望される方は、ご参加可能です (交通費等は自己負担でお願いします)

※基本的には、オンライン開催です



### ③ ESD活動のネットワークの形成機能

### 地域ESD拠点研修会

日時:令和3年2月25日

: オンライン開催



写真はR元年度の 模様

### 地域セミナーin山梨

日時:令和3年3月7日

協力: (公財) キープ協会

地域セミナーin栃木

日時:令和3年3月16日

オンライン開催





### ③ESD活動のネットワークの形成機能

関東ESD推進ネットワーク第4回 地域フォーラム

# **1一人と進める5DGs**SUSTAINABLE GOALS

### 【開催概要】

·日時:令和3年1月24日(日)13:00~17:00

·場所:オンライン(Zoom)

・対象:SDGs、ESDにご関心のある行政、NPO、学生

(小中高大)、企業の方など

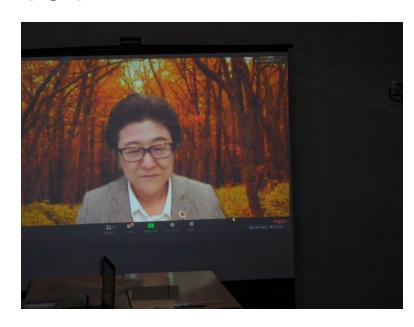
·参加者:70名





### 4 人材育成機能

「企業・事業者がSDGsに取り組む 意義と方法」審査員力量向上研修会 令和2年11月12日(木) エコアクション21地域事務局 東京中央 「SDGs入門〜知っておきたい私とSDGsのつながり〜」 令和2年11月10日(火) こくぶんじ市民活動センター・ 活動団体向け講座 富士宮市職員向け 「SDGs推進研修」 令和3年1月8日(金) 富士宮市役所・オンライン







### 教員向け勉強会

# 新学習指導要領スタート



# 学習指導要領の改訂

■ 前文(幼・小・中)

これからの学校(幼稚園)には、・・・一人一人の生徒(幼児・児童) が、・・・自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある 存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、 豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにす る・・・ことが求められる。このために必要な教育の在り方を具体化するの が、各学校(幼稚園)において教育の 計画的に組み立てた この考え方は、 ESDそのものです 教育課程である。

平成29年3月31日公示 新学習指導要領

### 子供たちの学びはどう進化するの?

### 主体的・対話的で深い学び

(アクティブ・ラーニング)

の視点から「何を学ぶか」だけでなく 「どのように学ぶか」も重視して授業を改善します。



一つ一つの知識がつながり、 「わかった!」「おもしろい!」 と思える授業に

見通しをもって、粘り強く 取り組む力が身に付く授業に



周りの人たちと共に考え、学び、 新しい発見や豊かな発想が 生まれる授業に

自分の学びを振り返り、次の学びや 生活に生かす力を育む授業に

カリキュラム・マネジメントを確立して教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図ります。



学校教育の効果を常に 検証して改善する



教師が連携し、複数の教科等の連携を図りながら授業をつくる



地域と連携し、よりよい学校教育を目指す

学んだことを人生や 社会に生かそうとする

学びに向かう力、 人間性など



知識及び技能

思考力、判断力、表現力など

4月 全面実施

社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、三つの力をバランスよく育みます。



2017年 3月改訂 幼稚園(幼稚園教育要領) 3月改訂 小学校(学習指導要領) 3月改訂 中学校(学習指導要領) 2018年 3月改訂 高等学校(学習指導要領)

2019年 2020年 2021年 2022年

4月 全面実施

移行期間 4月 全面実施

移行期間 4月 全面実施

移行期間

文科省リーフレット

## 社会に開かれた教育課程~学習指導要領の改訂の方向性

- ① 社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよい学校教育を通じてよりよい 社会を 創るという目標を持ち、<u>教育課程を介してその目標を社会と共有</u>してい くこと。
- ② これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に向き合い関わり合い、 自らの人生を切り拓 ひら いていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育んでいくこと。
- ③ 教育課程の実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させること。

# 本日の目的

- ①高校の探究の時間で、 SDGsに取り組むには どうすれば良いかを考える!
- ②3名の先生の取り組みを例に、具体的な方法、工夫を学び合う
- ③今後すべきこと、やっていきたいことを 検討し、共有する